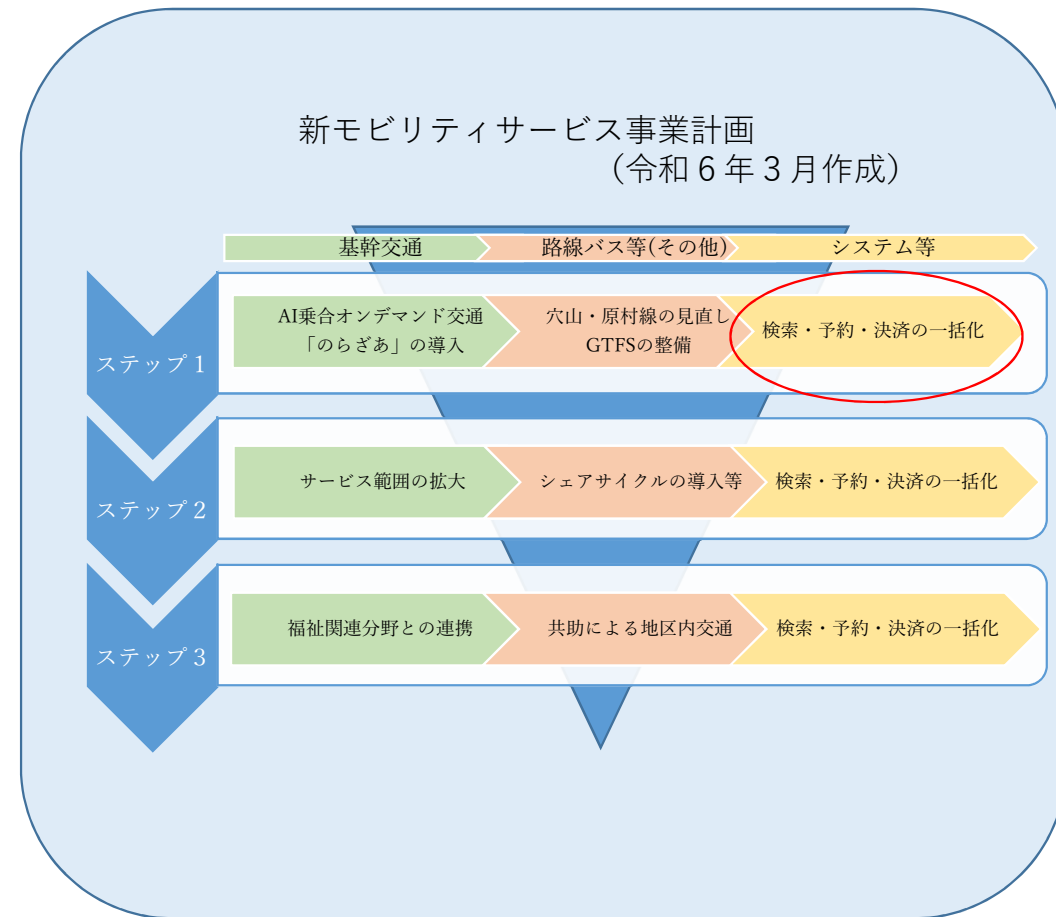


令和 8 年度 原村「のらざあ」実証運行について

原村役場商工観光課
田舎暮らし推進係

実証運行実施の背景

- のらざあの導入
→ R5年度導入済
- 路線バスの見直し及びGTFSの整備
→ R6年度整備済
- 検索・予約・決済の一括化
(路線バス⇔のらざあ)
→ **未実施**



新モビリティサービス事業計画
(令和6年3月作成)

カテゴリ	内容	定量指標 ※設定する定量指標を記載	目標値 (令和8年度末)	目標値 (令和10年度末)	データ取得方法等
地域課題の 解決貢献度を測る指標 (広範囲ニーズへの対応)	公共交通空白地帯の 解消、新規利用の獲得	公共交通空白地帯から の AI オンデマンド交通 利用者割合	15%	20%	アプリデータ管理画面より 取得
		仮想停留所の数 (村内)	127 箇所	150 箇所	アプリデータ管理画面より 取得
地域課題の 解決貢献度を測る指標 (利便性の向上)	公共交通空白地帯の 解消、新規利用の獲得	利用満足度	80%	80%	利用者満足度調査
		仮想停留所の数 (村外)	8 箇所	10 箇所	アプリデータ管理画面より 取得
	乗換の最適化	GTFS の整備	100%	100%	
	複数の交通モードの 検索・予約・決済の一 括化	検索・予約・決済可能な 交通モード数	3 つ	5 つ	
地域課題の 解決貢献度を測る指標 (他分野との連携)	福祉・観光分野と連携 しサービスの一元化	連携するサービスの数	0	2 つ	
施策の効果を測る指標 (広報活動)	提供する AI オンデマ ンド交通の認知度	村公式 HP アクセス数 (公共交通に関するページ) チラシ配布数	1,500 アクセス 4,000 枚	5000 アクセス 5,000 枚	HP 管理画面、配布実績より取得
施策の効果を測る指標 (アプリの認知度)	AI オンデマンド交通 アプリ等の利用者数	会員登録数	村内 350 人 村外 20 人	村内 1000 人 村外 100 人	アプリデータ管理画面より 取得
施策の効果を測る指標 (クーポンの利用促進) (交通と他の分野の連携)	提供する交通サービ ス以外のサービスの 利用者数	クーポン利用回数	0 回	500 回	アプリデータ管理画面より 取得

- ・ 検索・予約・決済可能な交通モード数
→ 目標値 (令和8年度末) 3 つ
- ・ 仮想停留所の数 (村外)
→ 目標値 (令和10年度末) 10箇所

「のらざあ」アプリを起点とした地域公共交通利便性向上実証運行（案） | 原村

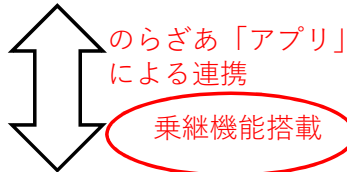
「のらざあ」アプリを起点とした地域公共交通利便性向上実証実験

①【原村・茅野市エリアの一部】

②【富士見町エリア】

原村
AI乗合オンデマンド交通
「のらざあ」
運行事業者：諏訪交通

【運行内容】
運行エリア：原村・茅野市
運行時間：8:30～17:00
運行日：平日
車両台数：のらざあ2台（通常運行車両）
穴山・原村線1台



「乗継機能搭載による連携」
・事業実施自治体：原村・茅野市
・事業実施エリア：原村・茅野市
・交通事業者：諏訪交通、茅野バス観光
・概要：「のらざあ」アプリに乗継機能を搭載し定時定路線バス「穴山・原村線」との一括決済を目指す。
※計画の推進にあたっては、「茅野市・原村活性化協議会」において検討する。

定時定路線バス
「穴山・原村線」
運行事業者：茅野バス観光

富士見町
AI乗合オンデマンド交通
「のらざあ」
運行事業者：諏訪交通

【運行内容】
運行エリア：富士見町・原村
運行時間：8:30～17:00
車両台数：車両台数：のらざあ1台（実証車両）
穴山・原村線1台



「富士見町・原村エリアを運行するAI乗合オンデマンド交通「のらざあ」実証運行」
・事業実施自治体：原村・富士見町
・事業実施エリア：原村・富士見町
・交通事業者：諏訪交通
・概要：富士見町エリアまで運行範囲を拡大し、広域交通ネットワークによる利便性向上と周遊促進を実現する。
・ナレッジ共有による早期立ち上げ、安定化を目指す。

定時定路線バス
「穴山・原村線」
運行事業者：茅野バス観光

実証運行のイメージ

- ①原村のらざあ
⇨穴山・原村線
- ②富士見エリアのらざあ
⇨穴山・原村線
- ③茅野市のらざあ
⇨穴山・原村線

